

タイ・モールグループとの包括業務提携契約の締結
及びコンサルティング事業の開始について

JR西日本SC開発株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：山口正人）は、新たな市場や事業領域への取組みとして、このたび、株式会社ザモールグループ（The Mall Group Co.,Ltd. 本社：タイ国バンコク市、代表取締役社長 クリングサック タンティフィポップ、以下「モールグループ」）と、両社の持続的発展に向けた包括的な協力並びにモールグループに対するテナント紹介コンサルティングを内容とする包括業務提携契約を締結しましたのでここにお知らせします。

具体的には、タイ国内における売上高で2番目（非上場企業としてはタイ国内最大）のデベロッパーであり、「サイアムパラゴン」「エムクオティエ」等バンコク有数の商業施設・百貨店を運営するモールグループに、アジア市場で支持が高い日本のテナントを紹介することを主な業務内容とするものです。

当社としましては、今回モールグループとの協業を通じて、日本のテナント企業の海外進出を支援していくとともに、今後の業容拡大を見据えてアジア企業との関係構築や現地の情報収集に繋がることにも期待するものです。

なお、当社では、今回の業務提携を皮切りに、SC事業で培った信用やノウハウを活かしたコンサルティング事業の展開を開始してまいりたいと考えています。今後は、JR西日本グループの会社や当社グループのSCに出店いただいているテナント様はもとより、出店者以外のテナント企業やグループ外のSC事業者の皆様とも協業していくことを通じて、そこで新たに得られた知見を還流して自社SCの運営レベルを更に磨くとともに、SC業界全体の発展にも寄与してまいりたいと考えています。

■モールグループについて

1979年創業。現地NO.2の小売・商業施設会社。バンコク主要箇所にて百貨店・SCを展開。バンコク随一の施設「サイアムパラゴン」の運営の他、バンコクBTS（モノレール）プロンポン駅前に展開中の既存施設「エンポリアム」「エムクオティエ」に今回開発予定の「エムスフィア」（2023年開業予定）を加え、「エム・ディストリクト計画」を推進中。

■当社の業務内容

当社がモールグループと締結する包括業務提携契約に基づき、モールグループの現地商業施設に相応しい候補となる日本のテナントに関する情報提供並びにモールグループとの商談サポートにより、モールグループの施設作りのサポートを行うと共に、日本テナントの海外進出支援を行うものです。

■スケジュール（予定）

2021年 10月	包括業務提携契約締結、コンサル事業開始
2023年 12月	新規開発施設「エムスフィア」開業（当社紹介予定のテナントの開業）

◇ モールグループについて ◇

■会社概要

会社名	THE MALL GROUP CO.,LTD.
創業	1979年
本社所在地	タイ国バンコク市
代表者	クリングサック タンティフィポップ
運営施設数	13箇所

■主要施設

(モールグループ単独による施設)

① エンポリアム

延床面積：約20万㎡

開業時期：1997年

最寄駅：BTS プロンポン駅

概要：モールグループとして初めての
高感度層をターゲットとした百貨
店業態として開発。現地富裕層や
海外観光客が訪れる旗艦店



② エムクオティエ

延床面積：約25万㎡

開業時期：2015年

最寄駅：BTS プロンポン駅直結

概要：プロンポン駅を挟んでエンポリア
ムの向かいにSC業態として開発。
日系テナントではユニクロ、
BEAMS、紀伊國屋書店等。螺旋状
のレストランフロアが特徴。



③ エムスフィア（開発中）

開発概要：隣接する EmQuartier, Emporium
と併せ、EmDistrict Project を完成
させるものとして計画

施設概要：米国有数のエンターテインメント会社
である AEG（アンシュッツ エン
ターテインメント グループ）と提携し
たアジア初の音楽施設 EmLive（6,000
人収容）を上層階に誘致、中層階～下
層階を SC として開発

延床面積：約 25 万㎡

総工費：約 250 億円

開業時期：2023 年秋 予定

最寄駅：BTS プロンポン駅
（デッキにて接続予定）



■ 開発地区概要

エムスフィア等が立地するバンコクの街区はスクンヴィット Sukhumvit 地区と呼ばれ、バンコクで最も富裕層並びに欧米人・日本人等の海外駐在員等が多く在住する地域であり、商業施設のみならず高級ホテル・コンドミニアム等が立地している。

モールグループとしては、今回のエムスフィア並びに既存のエンポリアム、エムクォーティエの3施設を中心としてこの地区のポテンシャルを更に高め、バンコクのみならずアジア一円からの集客の中心とすべく開発を進めており、当社も本プロジェクトに協力すべく、今回の契約締結に至ったものです。



主要施設位置図（タイ バンコク市内 モノレール等 路線図）



主要施設位置図（プロンボン駅付近 拡大図）



施設外観（プロンボン駅付近）